



## 2020年度 営業関係施策(その3)

### 団体交渉報告(12月23日実施) [東地申第2号 その③]

今回は、東京支社として「変革2027」をどのように進めていくのか? 「コロナ禍」という経営危機に直面し「変革のスピードアップ」が謳われているが、駅の将来展望はどうか? 今後の営業施策に正面から向き合うための大事なスタートの場と位置付け、特に1~7項は共通項目としてすべての駅にかかわる内容でもあります。また、施策実施日が迫っているため、上野駅に関する25~27項に関して団体交渉を実施しました。

#### 会社からの回答

1. 「変革2027」に基づき、お客さまのご期待を実現していくため、東京支社としての考え方を示すこと。

回答…「究極の安全」を追求するとともに、お客さまや地域からの信頼を高め、グループ一体で経営環境の変化を先取りした新たな価値を創造していく考えである。

2. 東京支社における駅の将来像と今後の駅の要員需給を示すこと。

回答…経営環境の急激な変化を踏まえ、効率的でより生産性の高い業務執行体制を構築していく。また、業務の運営に必要な要員は確保していく考えである。

3. 今まで実施してきた駅業務全般委託や一部委託の施策の成果と課題について示すこと。

回答…駅業務委託については、順調に推移しているものと認識している。

4. 現在、東京支社管内でJESSに出向している社員数とエルダー雇用の人数を示すこと。

回答…出向している社員数とエルダー雇用の人数について明らかにする考えはないが、引き続き出向やエルダー雇用を行っていく考えである。

5. 現在、本体からJESSにエルダー希望している社員の数を示すこと。

回答…社員の希望については、丁寧に把握している。

6. 駅業務委託にあたっては、この間の労使の確認事項と議論経過を遵守すると共に、本体からの若年出向が発生することを前提としたものではなく「エルダー雇用の場の確保の必要性」を前提としたものにする。

回答…駅業務委託については、エルダー社員の雇用の場における選択肢の拡大や、「当社を取り巻く環境の変化」「駅の要員事情」「駅業務を担う人材の育成」を踏まえて実施する考えである。

7. 施策実施後に検証を行い、問題等が生じた際は労使で協議すること。

回答…具体的な提起があれば、「労使間の取り扱いに関する協約(平成30年10月1日締結)」に則り取り扱う考えである。

#### 【上野駅】

25. 上野駅販売体制についての将来展望を示すこと。

26. 上野駅の現在の体制と体制見直し後の体制を示すこと。

回答…(25・26項まとめて)ICTを活用して商品購入の利便性向上を踏まえて、効率的な駅業務体制を構築する考えである。また、業務の運営に必要な体制は確保していく考えである。

27. 中央券売機室業務委託の目的と根拠を示すこと。

回答…エルダー社員の雇用の場における選択肢の拡大や、「当社を取り巻く環境の変化」「駅の要員事情」「駅業務を担う人材の育成」を踏まえて、駅業務委託を実施するものである。